

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第24週[6月14日～6月20日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

※ パラインフルエンザ (PIV) 3型の検出について ※

第20～23週に病原体定点医療機関（小児科）から検査依頼のあった患者5人の検体から、パラインフルエンザウイルス (PIV) 3型が検出された。これらの患者の臨床診断名は肺炎あるいは急性気管支炎などの呼吸器疾患が主である。PIV感染症は1年中認められるが、3型は春に多い。多くは散発性であるが、小児科病棟や乳児院で流行がおこることも稀ではなく、このような流行の原因は伝播力が最も強いとされる3型によることが多い。多くの小児は生後1～2歳までに3型の感染を受け、1型と2型はこれより遅れ、おおむね5歳までには大半の児が感染を受ける。感染後には免疫を獲得するが、小児期においてはしばしば再感染を繰り返すことが多い。有効なワクチンは未だ開発されておらず、院内感染等の感染予防策は標準予防策および接触感染予防策が講じられる。

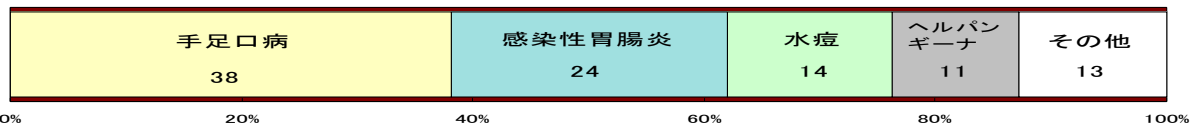
県内情報

○ 患者情報総評

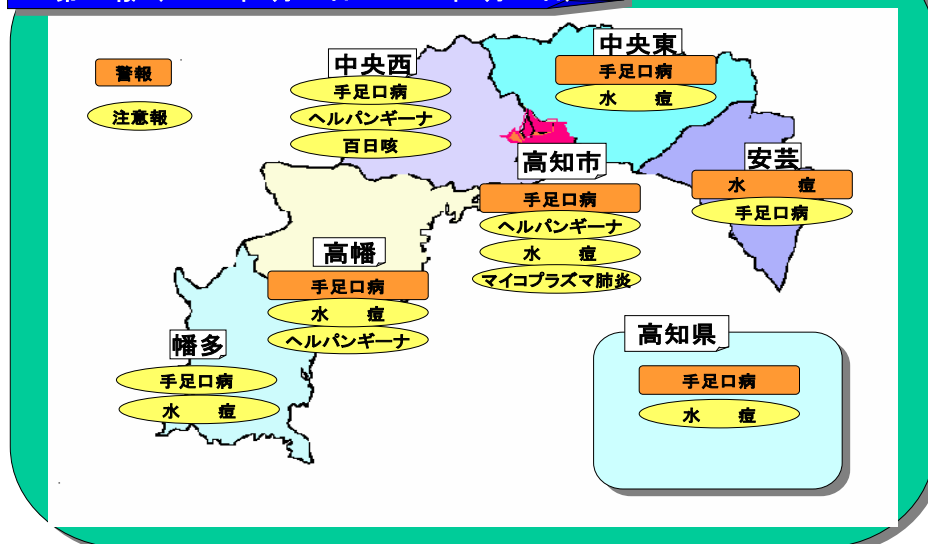
警報発令疾患：手足口病 **注意報発令疾患：水痘**

- ・ 梅雨入りしたが、比較的晴れの日が多く、30℃を超える真夏日の日もあった。
- ・ 手足口病（高幡：警報→警報，高知市：警報→警報，中央東：注意報→警報，中央西：警報→注意報，幡多：注意報→注意報，安芸：警報→注意報）は安芸，中央西，高幡で減少したが，その他の地域で増加し，総数はさらに増加した。
- ・ 感染性胃腸炎は減少を続けており，例年通りであれば今後は11月頃まで100名以下の低いレベルで推移すると思われる。
- ・ 水痘（安芸：警報→警報，高幡：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，中央東：注意報→注意報）は高知市と高幡以外で減少し，総数は前週の約7割に減少した。
- ・ ヘルパンギーナ（中央西：注意報→注意報，高知市：注意報，高幡：注意報→注意報）は高知市で増加したが，その他の地域で減少または横ばいとなり，総数は減少し注意報値を下回った。

上位疾患構成図

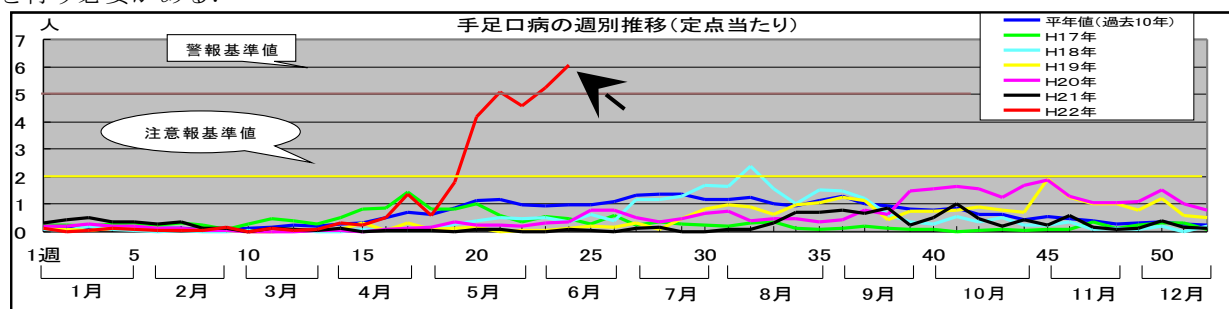


地域別感染症注意報・警報発生状況 第24報 (2010年6月14日～2010年6月20日)



手足口病：今週6.07（注意報値：2.00 警報値：5.00）

総数はさらに増加し、過去10年間のデータでみると平成14年第21週（6.81）に次ぐ報告となった。夏型疾患であり、今後もさらに増加する可能性がある。前週の検査速報で記載したが、Enterovirus 71は他のウイルスより重症化する傾向があり、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いといわれている。手洗い等の感染予防を充分に行い、感染した場合には発症児の経過を注意深く観察し、合併症に対する警戒を行う必要がある。



検査情報

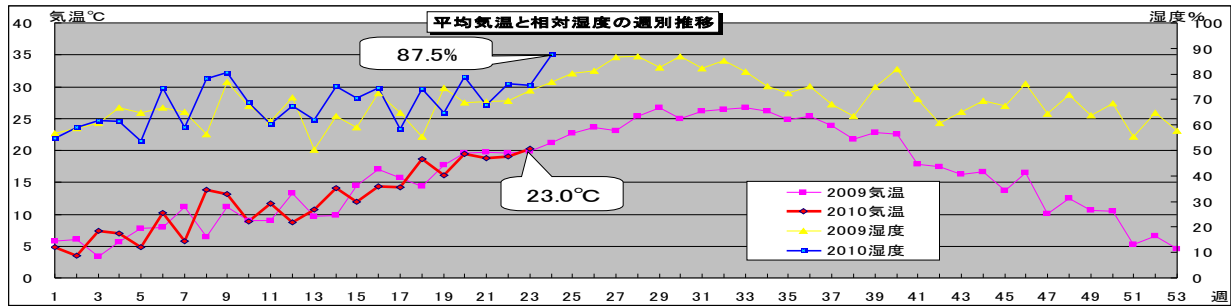
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4歳男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-1
23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8歳女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-1
23	マイコプラズマ肺炎	8歳男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3歳女	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-25
20	手足口病	2歳男	高知市	Enterovirus 71
20	手足口病	1歳女	高知市	Enterovirus 71
20	手足口病	2歳男	高知市	Enterovirus 71
20	手足口病	2歳男	高幡	Enterovirus 71
20	手足口病	2歳女	高幡	Enterovirus 71
20	手足口病	1歳男	高幡	Enterovirus 71
20	手足口病	2歳女	高幡	Enterovirus 71
20	手足口病	2歳男	高幡	Enterovirus 71
20	手足口病	3歳男	高幡	Enterovirus 71
21	感染性胃腸炎	4歳女	高知市	Enterovirus 71
21	手足口病	7歳女	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	2歳女	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	4歳男	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	2歳女	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	2歳男	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	1歳男	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	1歳男	高幡	Enterovirus 71(※1)
21	手足口病	1歳男	高幡	Herpes simplex virus -NT(※1)
21	手足口病	1歳男	高幡	Coxsackievirus A2
21	手足口病	5歳男	高幡	Enterovirus 71
21	手足口病	3歳男	高幡	Coxsackievirus A5
21	手足口病	2歳男	高幡	Enterovirus 71
22	上気道炎	8歳男	高知市	Coxsackievirus A9
22	手足口病	2歳男	高知市	Enterovirus 71
22	手足口病	1歳女	高知市	Enterovirus 71
22	手足口病	4歳男	高幡	Enterovirus 71
22	手足口病	1歳男	高幡	Enterovirus 71
22	手足口病	1歳男	高幡	Enterovirus 71
22	無菌性髄膜炎・手足口病	3歳男	幡多	Enterovirus 71(※2)
22	無菌性髄膜炎・手足口病	3歳男	幡多	Enterovirus 71(※2)
23	咽頭結膜熱	1歳男	高幡	Adenovirus 2
24	感染性胃腸炎	2歳男	中央東	Rotavirus group A

※1,2はそれぞれ同一人物

○ 全数報告の感染症情報

- 2類感染症：結核 3例（87歳女）《幡多》（22, 85歳男）《中央東》（今年64例）
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例（9歳女）《安芸》（今年2例）
- 4類感染症：E型肝炎 1例（41歳男）《高知市》（今年1例）
- 5類感染症：梅毒 1例（56歳男）《高知市》（今年1例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《渭南病院小児科》：アデノウイルス陽性 1例（3歳男）
 《さたけ小児科》：アデノウイルス感染症 1例（7ヵ月女） EBウイルス感染症 1例（5歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：ヘルペス性歯肉口内炎 1例（4歳男） マイコプラズマ肺炎 1例（5歳女）

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（9歳男：越知町）
 手足口病の1例（6歳男）は須崎市

高知市：

《福井小児科・内科》：マイコプラズマ肺炎 1例（13歳女：クラス及び学年間での小流行がみられる）
 《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 1例（7歳男）
 病原性大腸菌（0-1） 1例（14歳男）
 帯状疱疹 1例（14歳女） アデノウイルス扁桃炎 1例（3歳女）

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：百日咳の1例（31歳女）は東浜株2560倍、山口株1280倍
 マイコプラズマ感染症 1例（33歳女）
 《早明浦病院小児科》：手足口病流行中

全国情報第22週（5/31～6/6）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核345例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症92例（有症者52例、うちHUS なし）[*うち55例は三重県の複数の学校（中学・高校）における集団感染]

4類感染症：A型肝炎4例[*第10～22週の累積報告数は196例（劇症肝炎5例、うち死亡1例）となり、都道府県別では、福岡県26例、東京都25例、広島県23例、兵庫県14例、埼玉県11例の順に多い。]、つつが虫病9例、デング熱1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症11例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群14例（AIDS 5例、無症候9例）、ジアルジア症2例、梅毒6例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例、麻しん8例

報告遅れ：E型肝炎1例、つつが虫病1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例

◆百日咳

2010年第22週の週別の患者報告数は214例（定点当たり報告数0.07）となり、前週（第21週）の報告数（145例）を大きく上回った。都道府県別では、東京都30例、千葉県27例、神奈川県24例、栃木県17例、広島県15例、福岡県11例、沖縄県11例、埼玉県10例、兵庫県8例の順となっており、関東地域を中心に報告数の増加がみられているが、広島県、福岡県、沖縄県からの報告数も大きく増加している。

2010年第1～22週までの累積報告数は1,913例であり、男女別では男性40.7%（778例）、女性59.3%（1,135例）と女性の報告割合が高く、0歳児では男性の報告割合が高いものの、20歳以上では女性の報告割合が60%以上を占めている。年齢群別では、20歳以上53.1%（1,015例）、0歳9.7%（186例）、1歳5.0%（95例）、2～3歳8.1%（155例）、4～5歳7.1%（135例）となっている。小児科定点からの報告であるにもかかわらず、20歳以上の報告割合が年々増加し、2010年では半数以上となっているが、19歳以下で最も多数を占めているのは0歳児である。

百日咳は、現在でもワクチン未接種の乳児が罹患した場合には重症化が危惧され、かつては乳幼児を中心に夏季に流行する疾患であった。しかし最近では、成人層の患者発生の割合が年々高くなってきており、2010年には半数以上を占めるに至っている。その現状を明らかにするためには、現在の小児科定点による発生動向調査では不十分であると言わざるを得ない。また、既に米国等では思春期から成人層への百日咳対策としてワクチンの追加接種が実施されており、我が国においても早急に検討が必要と思われる。現状のままで何等有効な対策が講じられなければ、今後は成人層を中心とした百日咳の流行が毎年継続的に発生し、それによってワクチン未接種の乳児への感染機会も増加することが懸念される。百日咳の今後の発生動向には注意が必要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(23週)	高知県(24週末累計) H22/1/4~H22/6/20
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ								1 (0.02)	330 (0.07)	2,546 (53.04)
小児科	咽 頭 結 膜 熱	1		1		1	1	4 (0.13)	2 (0.07)	1,130 (0.37)	40 (1.33)
	A群溶血性レンサ 球 菌 咽 頭 炎		2	13	3		1	19 (0.63)	25 (0.83)	5,980 (1.97)	508 (16.93)
	感 染 性 胃 腸 炎	11	12	50	15	4	20	112 (3.73)	131 (4.37)	20,307 (6.69)	6,475 (215.83)
	水 痘	8	14	26	2	6	11	67 (2.23)	92 (3.07)	8,838 (2.91)	1,053 (35.10)
	手 足 口 病	7	37	76	13	31	18	182 (6.07)	157 (5.23)	4,802 (1.58)	921 (30.70)
	伝 染 性 紅 斑	1	1	4				6 (0.20)	9 (0.30)	1,729 (0.57)	74 (2.47)
	突 発 性 発 疹		3	7		2	4	16 (0.53)	10 (0.33)	1,720 (0.57)	269 (8.97)
	百 日 咳		1		2			3 (0.10)	3 (0.10)	220 (0.07)	28 (0.93)
	ヘルパンギーナ	3	7	27	8	4	2	51 (1.70)	60 (2.00)	3,538 (1.17)	520 (17.33)
	流行性耳下腺炎			5				6 (0.20)	7 (0.23)	3,965 (1.31)	118 (3.93)
	RSウイルス感染症								1 (0.03)	227 (0.07)	760 (25.33)
眼科	急性出血性結膜炎									14 (0.02)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	404 (0.60)	31 (10.33)
基幹	細菌性髄膜炎						1	1 (0.14)		8 (0.02)	5 (0.71)
	無菌性髄膜炎									23 (0.05)	7 (1.00)
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)		237 (0.52)	34 (4.86)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	16 (0.03)	9 (1.29)
計 (小児科定点当たり人数)		31 (15.50)	77 (11.00)	214 (19.00)	43 (14.33)	48 (24.00)	59 (11.60)	472 (15.53)			
前 週 (小児科定点当たり人数)		51 (25.50)	91 (13.00)	195 (17.55)	61 (20.33)	66 (32.75)	36 (7.20)		500 (16.59)	53,488	13,400 (411.91)

定点当たり

第24週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(23週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ								0.02	0.07
小児科	咽 頭 結 膜 熱	0.50		0.09		0.50	0.20	0.13	0.07	0.37
	A群溶血性レンサ 球 菌 咽 頭 炎		0.29	1.18	1.00		0.20	0.63	0.83	1.97
	感 染 性 胃 腸 炎	5.50	1.71	4.55	5.00	2.00	4.00	3.73	4.37	6.69
	水 痘	4.00	2.00	2.36	0.67	3.00	2.20	2.23	3.07	2.91
	手 足 口 病	3.50	5.29	6.91	4.33	15.50	3.60	6.07	5.23	1.58
	伝 染 性 紅 斑	0.50	0.14	0.36				0.20	0.30	0.57
	突 発 性 発 疹		0.43	0.64		1.00	0.80	0.53	0.33	0.57
	百 日 咳		0.14		0.67			0.10	0.10	0.07
	ヘルパンギーナ	1.50	1.00	2.45	2.67	2.00	0.40	1.70	2.00	1.17
	流行性耳下腺炎			0.45				0.20	0.23	1.31
	RSウイルス感染症								0.03	0.07
眼科	急 性 出 血 性 結 膜 炎									0.02
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.60
基幹	細菌性髄膜炎						1.00	0.14		0.02
	無菌性髄膜炎									0.05
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43		0.52
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							0.14		0.03
計 (小児科定点当たり人数)		15.50	11.00	19.00	14.33	24.00	11.60	15.53		
前 週 (小児科定点当たり人数)		25.50	13.00	17.55	20.33	32.75	7.20		16.59	

2010年週報推移(定点当たり)

